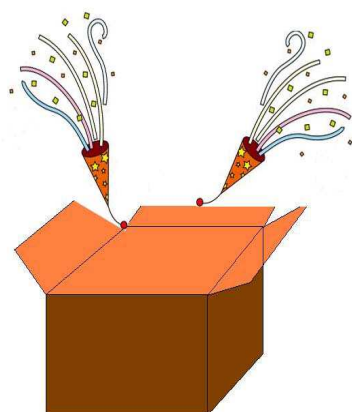




東洋紙工株式会社

2016年度 環境活動レポート

(対象期間:2016年5月21日~2017年5月20日)



**ダンボールを通じて社会貢献!
環境を考える 段ボール会社!**

作成日 2017年12月10日

□ ごあいさつ

企業活動を進めるに当たり、環境保全とりわけ地球温暖化対策はさけて通れないと認識しております。
誰かが考えてくれる、自分には関係ないではすまされないことです。
私たちにできることを「考えよう!」「実行・前進しよう!」
で取り組んでいます。

東洋紙工株式会社
代表取締役 田村 耕作

環境方針

<環境理念>

当社は、ダンボールの加工業を通じて社会貢献を図ります。
リサイクルの優等生である素材「ダンボール」を扱っており、資源の大切さを認識し、私達が進んで環境保全維持活動に取り組めます。

1. 電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
2. 使用原材料の不良率低減による省資源、廃棄物の減量の推進
3. 水資源の節水
4. 事務用品のグリーン購入の推進
5. 環境に配慮した製品の開発
6. 工場周辺の清掃活動の推進
7. 化学物質使用量の削減

また、環境関連法規制及び当社が約束したことを遵守します。

制定日：2012年5月20日

代表取締役 田村 耕作

□ 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
東洋紙工株式会社
代表取締役 田村 耕作
- (2) 所在地
本 社 大阪府四條畷市西中野1-11-32
本社工場 同上
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 工場長 瀬尾 章二 TEL : 072-878-5541
担当者 事務部 林田 裕美子 同上

- (4) 事業内容
ダンボールケース及び紙器の製造・販売
主要製品：ダンボールケース、

- (5) 事業の規模
製品出荷額 4億円
主要製品生産量 1,680トン

	本社および本社工場
従業員	23名
延べ床面積	1,587㎡

- (6) 事業年度 5月21日～翌年5月20日

□ 認証・登録の対象組織・活動

- 登録組織名： 東洋紙工株式会社
対象事業所： 本社・工場
事業 活動： 段ボールケース及び紙器の製造・販売

□ 主な環境負荷の実績

項目	単位	2010年度	2011年度	2014年度	2015年度	2016年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	55,479	52,788	49,525	46,186	44,947
廃棄物排出量	kg	9,000	5,440	3,205	3,602	3,185
一般廃棄物量排出量	kg	1,000	1,440	778	662	715
産業廃棄物排出量	kg	8,000	3,970	2,427	2,940	2,470
総排水量	m ³	456	442	389	385	402

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.355 kg-CO₂ /kW h

□ 環境目標及びその実績

年度 項目	年	基準値 (基準度)	2016年度		達成状況	2017年度	2018年度
			(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	36,761	34,555	30,876	○	30,144	29,409
	基準年比 (2011年)		95%	84%		82%	80%
液化石油ガス (LPG) の二酸化炭素削減	kg-CO ₂	3,714	3,491	2,807	○	2,786	2,748
	基準年比 (2011年)		95%	76%		75%	74%
ガソリンの二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	12,314	11,575	11,264	○	11,083	10,959
	基準年比 (2011年)		94%	91%		90%	89%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	52,789	49,621	44,947	○	44,012	43,117
一般廃棄物の削減	kg	1,005	945	715	○	683	673
	基準年比 (2012年)		94%	71%		68%	67%
産業廃棄物 廃インキの削減	kg	1,620	1,523	292	○	1,507	1,458
	基準年比 (2011年)		94%	18%		93%	90%
産業廃棄物 廃プラスチックの削減	kg	700	658	0	○	651	630
	基準年比 (2011年)		94%	0%		93%	90%
産業廃棄物 廃木くずの削減 (木型・パレット)	kg	1,650	1,551	2,178	×	1,535	1,485
	基準年比 (2011年)		94%	132%		93%	90%
節水	m ³	441	415	402	○	388	384
	基準年比 (2011年)		94%	91%		88%	87%
化学物質 溶剤シナー使用量削減	kg	8	8	2	○	7	7
	基準年比 (2011年)		94%	29%		91%	88%
化学物質 溶剤POC2使用量削減	kg	21	19	7	○	19	19
	基準年比 (2011年)		94%	33%		93%	90%

項目	年度	基準値 (基準度)	2016年度		達成状況	2017年度	2018年度
			(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
グリーン購入			4品目購入	5品目購入	○	5品目	6品目
製品への環境配慮 エコ素材ガンボールの 優位性をPRする			試作4案 提案4案	試作4案 提案4案 展示会 8回	○	継続	継続
社会貢献 地域児童公園清掃 地域社会貢献活動 (環境フォーラム)			3ヶ月に 1回実施	7月4日 10月10 日 実施	×	継続	継続
			11月・2 月	11月・2 月	○	継続	継続

□ 環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度	評価 (結果と次年度の取組内容)
電力による二酸化炭素排出量の削減			
・空調温度の適正化 (冷房28℃ 暖房20℃)	△	強化	結果 目標は達成できた。 デマンド計設置により、目標以上の効果を達成できた。 次年度 順次、蛍光灯をLEDへ変更する。 新電力会社との契約。
・夜間、休日はパソコン・プリンターの主電源を切る	△	強化	
・昼休みの工場消灯・トイレ・休憩室のこまめな消灯	◎	継続	
・デマンド計系の設置・検討	◎	継続	
・蛍光灯からLEDへ25本入替	◎	継続	
液化石油ガス (LPG) の二酸化炭素削減			
・暖房の適切な温度管理	△	強化	結果 目標は達成できた。 個人用スポットヒーターの採用。 次年度 個人用電気スポットヒーターの増設を検討する。
・不必要な場所の暖房を止める	○	継続	
・(夏場の) お茶沸かし量の削減	×	継続	
・事務所内はガスストーブを控えて個人用電気ヒーターを使用	○	継続	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減			
・アイドリングストップ	○	継続	結果 目標は達成できた PHEV車を導入できた。 次年度 近距離の営業・配達が増加しているの で更に、アイドリングストップを心がける。
・鉄道の活用	○	強化	
・近距離は自転車を利用する	○	継続	
・エコカーの検討・導入 (価格と効果の調	◎	継続	
一般廃棄物の削減			
・分別の徹底	○	継続	結果 目標は達成できた 次年度 木くずを廃棄物から有価物にできないか。 3S強化と工場内ライン引きを行う。
・文章の電子化に取り組む	△	強化	
・3S (整理・整頓・清潔) 活動の実施	×	強化	
・不要コピー紙のリサイクル	○	継続	
・コピー及びプリンターのカウント調査	◎	継続	
産業廃棄物 廃インキの削減			
・色替え回数の削減	○	強化	結果 目標は達成できた 次年度 1回洗浄実現の為、洗浄ロールの交換 を検討する。
・洗浄回数の削減 (1回洗浄)	○	継続	
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	強化	
・インクの集約と使い切る事 (メンテナンス回数の適正化)	○	継続	
産業廃棄物 廃プラスチックの削減			
・素材別ボックスの設置	○	継続	結果 目標は達成できた 次年度 印版・ブランケットのリユースが進んでいないので強化する。
	○	継続	
・印版やブランケットのリユース	○	強化	
・過剰プラスチックの転売先を探す	△	強化	
産業廃棄物 廃木くず (木型・パレット) の削減			
・素材別ボックスの設置	○	強化	結果 目標は達成できた 新規木製パレットの発注はゼロ。 次年度 木くずを廃棄物から有価物にできないか。
・リサイクル業者の開拓	×	継続	
・修理板で修理して長く使用する	○	継続	

取り組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
節水			
・節水シールの貼り付けとポスター掲	◎	継続	結果 目標は達成できた うがい用に簡易紙コップの設置、うがいマニュアルの掲示。 次年度 節水弁・節水シャワーの取付
・節水弁取り付け（節水コマ）	×	強化	
・やかん冷やしに流水を使わない	◎	継続	
・水冷式以外のクーラーの価格と効果の調査	△	強化	
化学物質 溶剤シンナー使用量削減			
・容器の蓋の徹底	○	継続	結果 目標は達成できた 次年度 使用量の適正化の基準を考える
・使用量の適正化	△	強化	
化学物質 溶剤POC2使用量削減			
・容器の蓋の徹底	○	継続	結果 目標は達成できた 本年度POC2購入ゼロ。 次年度 ウエスの代用品を探す
・使用量の適正化	○	継続	
・代替物質の検討	△	継続	
・計量カップで使用量を計る	×	継続	
グリーン購入			
・カタログ調査	○	強化	結果 目標達成できた グリーン購入品を意識する事で今までの購入品を見直す機会につながった 次年度 更に意識の向上を計る
・プリンタートナーリサイクル品の購入	◎	継続	
製品への環境配慮			
・イベント・展示会を行う (ダンボール素材の啓蒙と紹介)	◎ ◎	強化 継続	結果 目標は達成できた 地域外への販売もスタートできた 次年度 デザイナーと共働し、製品数を増やしていきたい
社会貢献			
・地域児童公園の清掃・除草作業	○	継続	結果 目標は達成できた。 次年度 今後も地域貢献活動を継続し、市役所とも連携していきたい。
・地域社会貢献活動	○	継続	

□法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	要求される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物 適正に処	○
廃棄物処理法	産業廃棄物（木くず、廃プラ、廃油等） 適正処理	○
騒音規制法	空圧機	○
フロン回収破壊法	業務用空調機、エアドライヤの廃棄時での適正処理	○
グリーン調達基準	グリーン購入法適合マーク付商品の購入	○
家電リサイクル法	廃棄時に適切に処理	○
自動車リサイクル法	営業用乗用車の廃棄時適正処理委託	○
資源有効利用促進法	廃棄時に適正処理	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

□ 代表者による全体の評価と見直し

目標・計画であった「デマンド計」設置により、基本電力を55→48まで下げる事ができた。また、エコカー（PHEV）を導入することができた。

上記により年間9,760kWhの節約と、32万9千円/年減額することができた。

電気については取扱方法、コンセントやプラグの不良点検なども実施し総合的な安全も計りたい。

廃棄物の削減については、次年度不用品の精査を行い、印判・使わないソパレット（廃プラ）と不要な木型（木くず）が増加する可能性があるが、社内の整理整頓を重視し取り組みたい。

作業環境を改善するため、搬入・搬出場所のテント屋根張替えを行い製品保護と安全対策にもとりくみくむことができた。

□ 環境活動の紹介

リサイクル素材を扱う当社では、率先して環境への取り組みを実施し、またその成果を広く広報していく活動を行いました。

本年度実施した事例をレポートいたします。

1:エコ素材「ダンボール」の広報活動として展示会出展

2:「ダンボールグッズ」を利用したイベントの紹介

3:工場近隣の児童公園にて清掃と除草作業 ほか

1:エコ素材「ダンボール」を活用した、イベント

・2016年 6月 1日～2日
マイドーム大阪にて展示会出展



・2016年11月14日～16日
インテックス大阪にて展示会出展



エコ素材「ダンボール」の紹介。パッケージからインテリアアート・創作グッズまで限りない可能性を持った製品を展示しました。

ダンボールパッケージはもちろん、文具関係、科学教材、什器を紹介。大阪の伝統工芸である「大阪欄間」の広報活動を兼ねた「ダンボール欄間」(大阪工業大学知的財産学部知財PR隊様＋大阪欄間工芸共同組合様との民学産連携事業)の紹介。

・2016年11月19日
四條畷市総合防災訓練(避難所のパーティション作り)



市民のみなさんに、ダンボールパーティションを組み立ててもらい避難所生活体験を実施しました。

地域の協同作業で、避難所づくりを行うことで、防災意識、地域コミュニケーションの大切さを実感してもらうことができました。

2:「ダンボールグッズ」を利用したイベントの紹介

・2016年 7月 9日
保育園の夏まつり(四條畷市)



ダンボールのミニ恐竜つりを楽しんでもらいました。

・2016年 8月27日
アトリエスタ「夏のおわりのじゆうけんきゆう」(大阪市)



もりだくさんの催しの中、巨大ダンボールめいろあそびと壁面に
お絵かきをしてもらいました。
(主催:アトリエスタ様)

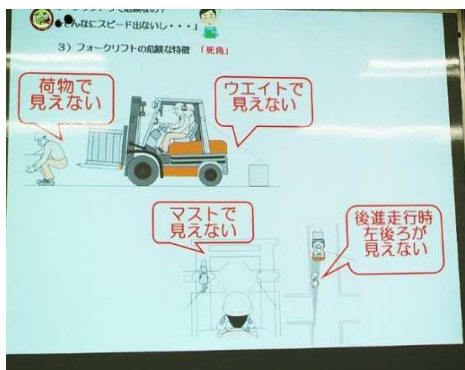
・2016年10月10日
すみよし「湯ズニーランド」(大阪市)



巨大紙相撲大会を実施しました。お子様から高齢者さんまで、ドンドン・トントン
たいへん盛り上がりました。(主催:朝日温泉様)

3:安全講習と避難訓練

・2016年 8月19日
フォークリフト安全講習会



トヨタL&F株式会社の協力で、フォークリフト安全講習会を開催しました。
 安全第一の意識向上につながりました。
 ヒヤリ・ハットを感じたらすぐ止まって改善！

・2016年 9月 5日
フォークリフト安全講習会



大阪府全体で一斉開催される
 「大阪880万人訓練」を弊社でも実施。

今回は、事前説明なしの訓練だったので
 避難に時間がかかったチームが出ました。

訓練を行うことで、緊急時の判断や行動の
 方法を知ることができました。

・2016年 5月22日
工場荷捌き場のテント屋根取替工事实施





老朽化で雨漏りが認められたテント屋根



解体工事のようす



新しいテント屋根を設置するようす



きれいに仕上がりました

製品を守るとともに、作業の安全確保や明るさが変わりました。

・2016年 6月26日
会社変電設備の点検



定期点検を行いました
アースとブレーカーが老朽化してきて
いることがわかりました。

・2016年10月16日
アース工事とブレーカー交換を実施



次回レポート発行予定：2018年9月頃